

第10回 リハビリカフェを開催しました

ー失ったものを数えるのをやめ、残されたものを最大限に生かそうー

「パラリンピックの父」、「障がい者スポーツの父」とされるリハビリの世界では有名なイギリスの神経学者、ルートヴィヒ・グットマンの言葉です。脳卒中は命を落とす方は減りましたが、後遺症に苦しむ方は少なくありません。今まで当たり前にあった機能が突然失われることで、出かけるのがおっくうになったり、ふさぎ込みがちになったりする方もいらっしゃいます。当院では、悩みを抱える方やご家族が気軽に集まることができ、孤立しないように支援するため「リハビリカフェ」を開催しています。



6月22日に「第10回リハビリカフェ」を開催し、9名の方に参加していただきました。

当日のプログラムは、ミニ講座「リハビリ病棟の看護師の役割」、健康体操「座ってできる太極拳」、レクリエーション「絵はがき作り」、「悩み相談会」の4本でした。ミニ講座では、病棟での看護師の仕事や役割についてお話をしました。着替えのお手伝いやトイレに行く時の介助など様々な所で活躍されていることをわかりやすくお伝えしました。想像よりもたくさんの仕事をされていて皆さん驚いていました。恒例プログラムとなっている太極拳では参加者と周りの療法士を含めて一生懸命に取り組みました。自宅でも取り組んでいる方が増えており、皆さん上達してきています。レクリエーションでは、「絵はがき作り」を行い、ペンや絵の具などを使いながら自分の好きなデザインで作成して頂き、個性あふれる絵はがきが出来上がりました。皆さん自信作を完成させようと夢中で取り組んでいました。「悩み相談会」では各々の参加者が療法士と雑談をしつつ、退院後の生活やリハビリに関しての悩み事をお話しました。今後も外出目的の一環として、ぜひリハビリカフェを利用していただければと思います。継続して開催をしていき、多くの方と有意義な時間を共有したいと思います。

次回のリハビリカフェは、**2024年9月28日(土)**を予定しております。

(詳細はホームページをご確認ください) 日常生活に不便を感じている方とご家族が対象です。ご家族だけの参加も歓迎いたします。ご興味のある方はぜひ、ご参加ください。